

令和7年度 久慈保健医療圏における保健医療計画の取組状況等

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R7年度における取組実績	R8年度における取組状況及び予定
1 高齢化社会 に対応した地 域医療体制の 構築	（地域包括ケアのまちづくり） ○ 団塊世代が後期高齢者になるなど、医療・介護の双方のケアが必要な高齢者が増加しており、今後、一層の増加見込 ○ 高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの進化・推進を図ることが必要	⇒ 圏域内の情報交換、先進事例紹介、普及啓発等による市町村支援	（久慈医師会） ・多職種連携での体制強化 （久慈病院） ・救急医療体制、地域包括ケア病棟の維持 （北リアス病院） ・認知症疾患医療センターの運営 ・認知症初期集中支援チームへの後方支援 ・認知症セミナー等への講師派遣 （久慈恵愛病院） ・地域包括ケアにおける医療介護連携の実行 （種市病院） ・地域医療連携室による退院支援（537件） ・訪問診療による在宅医療の推進（106件） （久慈歯科医師会） ・在宅訪問歯科診療の推進 （久慈薬剤師会） ・他職種連携のための体制強化を図る。 ・地域包括ケア個別会議・包括ケア研修等への参加。 （久慈市） ・地域包括ケアシステムの推進に向けて各種事業を実施するとともに、関係機関等との連携強化を図る。 （洋野町、普代村） ・高齢者サロン活動の支援 （野田村） ・地域包括ケアシステムの深化・推進のため介護保険担当・包括等による定期的な会議等を開催し情報共有を図る。 （地域ケア会議の開催(12回/年)、必要に応じ個別会議実施) （普代村） ・高齢者支援連絡会議や地域ケア個別会議の定期開催 （広域連合介護保険課） ・地域包括ケアシステム深化・推進のため、関係市町村介護保険部会、担当者会議の実施。（介護保険部会3回、介護保険事務担当者会議3回） ・医療・介護関係者の相互の理解と連携を深め、共通課題への対応につなげることを目的とした「久慈地域医療と介護の連携情報交換会」の開催（R8.2.19、参加23名） （保健所） ・広域連合主催の会議等での助言	（久慈医師会） ・在宅医療人材育成研修会の実施 ・多職種連携での体制強化 （久慈病院） ・救急医療体制、地域包括ケア病棟の維持 （北リアス病院） ・認知症疾患医療センターの運営 ・認知症初期集中支援チームへの後方支援 ・認知症セミナー等への講師派遣 （久慈恵愛病院） ・地域包括ケア関連の会議及び研修会への参加 ・医療・介護・福祉関係者との多職種連携の推進 （種市病院） ・地域医療連携室による退院支援 ・訪問診療による在宅医療の推進 （久慈歯科医師会） ・在宅訪問歯科診療の推進 （久慈薬剤師会） ・他職種連携のための体制強化を図る。 ・地域包括ケア個別会議・包括ケア研修等への参加。 （久慈市） ・地域包括ケアシステムの推進に向けて各種事業を実施するとともに、関係機関等との連携強化を図る。 （洋野町、普代村） ・高齢者サロン活動の支援 （野田村） ・地域包括ケアシステムの深化・推進のため介護保険担当・包括等による定期的な会議等を開催し情報共有を図る。 （普代村） ・高齢者支援連絡会議や地域ケア個別会議の定期開催 （広域連合介護保険課） ・地域包括ケアシステム深化・推進のため、関係市町村介護保険担当による定期的な会議により情報共有を図る。 （保健所） ・広域連合主催の会議等での助言
	（健康寿命の延伸） ○ 要介護状態となる主な原因である、骨折・転倒や認知症、脳血管障害等を予防し、健康寿命を延ばすことが必要	⇒ 介護予防事業による、高齢者のフレイル状態の早期の把握、介入の必要性の高い高齢者の把握、生活機能の維持向上や適切な栄養状態の確保	（久慈病院） ・引き続き、関係機関事業へのリハビリ部門職員の派遣及び健康講演会、出前講座の開催 〔リハビリ部門職員の派遣 久慈市高齢者保健・介護予防事業「まるっと元気健康塾」(9回) 野田村介護予防事業「リハビリのだ教室」(1回)〕	（久慈病院） ・引き続き、関係機関事業へのリハビリ部門職員の派遣及び健康講演会、出前講座の開催（6回）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
			(久慈恵愛病院) - 久慈市介護予防事業「いきいき百歳体操」へのリハビリスタッフ派遣協力(5回) (久慈歯科医師会) - オーラルフレイルの周知活動 (久慈市、洋野町、野田村) 「いきいき百歳体操」の継続支援及び普及啓発 - 久慈市：参加70団体・実人数864人 - 洋野町：参加44団体・延べ21,086人、リハビリ専門職技術指導 86回 - 野田村：保健センター開催(49回延べ294人)、公民館でも取組み継続 (久慈市、洋野町) - 介護予防や健康づくりに関する市民講座や出前講座等の実施 (洋野町) - 自立支援型地域ケア会議の実施（4回） (野田村) - 介護予防事業の実施 - リハビリ教室での専門職による指導実施（1回） - 委託による運動機器を用いた体操、ポールウォーキングの実施 (普代村) - 健康運動指導士による体操教室を実施。 (保健所) - 介護予防事業関係者情報交換会（地域ケア会議研修会）の開催（R8.2.17、19人）	(久慈恵愛病院) - 久慈市介護予防事業「いきいき百歳体操」へのリハビリスタッフの講師派遣 (久慈歯科医師会) - オーラルフレイルの周知活動 (久慈市、洋野町、野田村) 「いきいき百歳体操」の継続支援及び普及啓発 - 久慈市：「いきいき百歳体操10周年記念式典」の開催 - 洋野町：リハビリ専門職による技術指導 (久慈市、洋野町) - 介護予防や健康づくりに関する市民講座や出前講座等の実施 (洋野町) - 自立支援型地域ケア会議の実施 (野田村) - 介護予防事業の実施 - リハビリ教室での専門職による指導実施（1回） - 委託による運動機器を用いた体操、ポールウォーキングの実施 (普代村) - 健康運動指導士による体操教室を実施。 - リハビリ専門職による足腰元気リハビリ教室の実施。 (保健所) - 介護予防事業関係者情報交換会の開催
	（認知症医療体制の構築） ○ 鑑別診断や適切な医療を受けられる体制構築、認知症の正しい知識や早期対応の必要性の周知が必要	⇒ 地域型認知症疾患医療センター（北リアス病院）による相談・支援 ⇒ 認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応 ⇒ 認知症サポーターの養成や「認知症カフェ」の普及啓発	(久慈医師会) - かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施 (久慈病院) - 認知症看護認定看護師による認知症分野での活動推進（院外研修会講師） - 認知症初期集中支援チーム（久慈市）への協力 - 認知症患者（入院）を対象とした院内アクティビティの実施 (北リアス病院) - 認知症疾患医療センターを運営し、認知症の鑑別診断、治療を行う。 - 身体合併症がある場合は、他医療機関と連携。 - 若年性認知症の普及啓発、治療、及び当事者・家族への相談、生活支援、多職種・他機関との連携、情報共有。 - 認知症初期集中支援チームへの後方支援 - 認知症セミナー等への講師派遣 (種市病院) - 認知症サポート医の認知症支援チームへの参画 (大野診療所) - 認知症専門医への紹介 (久慈歯科医師会) - 認知症対応力向上研修会の開催（R8.2.19、講師：北リアス病院 長谷川先生、参加13人）	(久慈医師会) - かかりつけ医認知症対応力向上研修の実施 (久慈病院) - 認知症看護認定看護師による認知症分野での活動推進（院外研修会講師） - 認知症初期集中支援チーム（久慈市）への協力 - 認知症患者（入院）を対象とした院内アクティビティの実施 (北リアス病院) - 認知症疾患医療センターを運営し、認知症の鑑別診断、治療を行う。 - 身体合併症がある場合は、他医療機関と連携。 - 若年性認知症の普及啓発、治療、及び当事者・家族への相談、生活支援、多職種・他機関との連携、情報共有。 - 認知症初期集中支援チームへの後方支援 - 認知症セミナー等への講師派遣 (種市病院) - 認知症サポート医の認知症支援チームへの参画 (大野診療所) - 認知症専門医への紹介 (久慈歯科医師会) - 関連医療機関との連携推進

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
			(久慈市、洋野町、野田村、普代村) ・認知症初期集中支援チームの運営 ・認知症サポーターの養成 (野田村：サポーターの養成 1 回、ステップアップ講座 1 回) (久慈市) ・チームオレンジの活動支援 ・認知症ケア向上等を目的とした研修会の実施 ・認知症に関する市民講座の実施 (映画上映会開催(「ぼけますから、よろしくお願いします。」)) ・認知症月間(9月)に合わせて、図書館と連携した講話、ミニ映画会、認知症カフェを実施 ・出前講座等の実施 ・認知症ケアパスの調整・発行 (洋野町) ・認知症に関する住民等への普及啓発(講演会開催 R7. 11. 10、44 名) ・認知症カフェの開催 〔おれんじボランティア：20回・延べ513人、エンパワメント輝き：49回、事業所(老人福祉施設)等：4 回 (※ 実施主体別)〕 ・認知症ケアパスの活用 ・認知症見守り・SOS ネットワーク事業の実施 (野田村) ・介護予防事業の実施 ・孫世代のための認知症講座(野田中)の実施(1 回) ・「チームオレンジのだ」の結成と活動支援(R7. 12 月結成) ・認知症カフェの開催 〔かだるカフェ：年50回、延べ234人 出張かだるカフェ(地区公民館に出向いての開催)：10 回、85 人〕 (普代村) ・孫世代のための認知症講座(普代小学校・普代中学校) ・認知症に関する普及啓発 (保健所) ・介護予防事業関係者情報交換会(認知症ケア研修会)開催(12月23日、37人)	(久慈市、洋野町、野田村、普代村) ・認知症初期集中支援チームの運営 ・認知症サポーターの養成 (野田村：サポーターの養成 1 回、ステップアップ講座 1 回) (久慈市) ・チームオレンジの活動支援 ・認知症ケア向上等を目的とした研修会の実施 ・認知症に関する市民講座・出前講座等の実施 ・認知症月間(9月)に合わせて、図書館と連携した事業の実施 ・認知症ケアパスの周知・配布 (洋野町) ・認知症に関する住民等への普及啓発 ・認知症カフェの開催 ・認知症ケアパスの活用 ・認知症見守り・SOS ネットワーク事業の実施 (野田村) ・介護予防事業の実施 ・孫世代のための認知症講座(野田中)の実施 ・「チームオレンジのだ」の活動支援 (普代村) ・孫世代のための認知症講座(普代小学校・普代中学校) ・認知症に関する普及啓発 (保健所) ・介護予防事業関係者情報交換会(認知症ケア研修会)の開催
	(医療と介護の連携) ○ 地域の病院・診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等における一層の連携強化が必要	⇒ 医療介護連携強化のための研修会、情報共有、相談窓口等の取組支援 ⇒ 市町村主催の地域ケア機能会議の機能強化 ⇒ 「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」や、「在宅医療に必要な連携を担う拠点」と地域包括支援センター等市町村との連携促進	(大野診療所) ・訪問看護ステーションやケアマネージャーとの情報共有及び連携 (看護協会久慈支部) ・看護と介護の連携強化に向けての研修会開催 ① 感染対策(感染管理認定看護師)(10月3日、参加18名) ② コミュニケーションスキル「ペップトーク」(9月13日、参加28名) (一社)日本ペップトーク普及協会認定講師) (消防本部) ・医療・介護連携情報交換会等にて、救急現場におけるD N A R プロトコル普及啓発 (久慈市) ・地域包括ケア研修会 2 回開催(多職種を対象とした研修会等) ・久慈市版エンディングノート「こうしたいノート」の普及啓発 ・A C P など「終活」に関する映画上映会を実施、ほか出前講座の開催 ・久慈地域医療と介護の連携情報交換会への参画	(大野診療所) ・訪問看護ステーションやケアマネージャーとの情報共有及び連携 (看護協会久慈支部) ・看護と介護の連携強化に向けての研修会開催 ① 糖尿病研修会「久慈地域の糖尿病の現状と事例を通して考える新たな治療について」(糖尿病看護認定看護師) ② アンガーマネジメント(日本アンガーマネジメント認定講師) (消防本部) ・医療・介護連携情報交換会等にて、救急現場におけるD N A R プロトコル普及啓発 (久慈市) ・地域ケア会議を通じた医療と介護の連携 ・久慈市版エンディングノート「こうしたいノート」の普及啓発 ・A C P など「人生の備え」に関する講演会等、ほか出前講座の開催 ・久慈地域医療と介護の連携情報交換会への参画

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
			(洋野町) ・在宅医療・介護連携推進セミナーの開催(R7. 12. 13、260名) ・洋野町在宅医療・介護連携通信の発行 ・久慈地域医療と介護の連携情報交換会への参画 (野田村) ・地域ケア会議等通じての連携 ・救急情報シートの活用による連携 (普代村) ・地域ケア会議を通じた医療、介護従事者の連携 (保健所) ・久慈構想区域地域医療構想調整会議の開催（R7. 10. 15、R8. 2. 3） ・市町村等との在宅医療に係る意見交換(R8. 1. 13久慈市、1. 15洋野町) (NPO北三陸塾) ・北三陸ネットによる医療・介護の情報共有 情報通信技術（ICT）を活用し、多職種間で診療情報を共有。 ・「在宅医療に必要な連携を担う拠点」であり北三陸ネットを運営する北三陸塾が、厚生労働省の令和7年度「地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業（在宅医療の拠点整備・運用に向けた伴走支援）」に採択され、体制整備等を検討。 ・多職種連携会議の開催（※県立大学と共催） R7. 10. 18（於：久慈地区合同庁舎）	(洋野町) ・在宅医療・介護連携推進セミナーの開催 ・洋野町在宅医療・介護連携通信の発行 ・久慈地域医療と介護の連携情報交換会への参画 (野田村) ・地域ケア会議等通じての連携 ・救急情報シートの活用による連携 (普代村) ・地域ケア会議を通じた医療、介護従事者の連携 (保健所) ・久慈構想区域地域医療構想調整会議の開催（R8. 9. 15、R8. 12月） ・市町村等との在宅医療に係る意見交換（R8. 6. 30 普代村・野田村） 今後、関係団体等とも意見交換。 (NPO北三陸塾) ・北三陸ネットによる医療・介護の情報共有 情報通信技術（ICT）を活用し、多職種間で診療情報を共有。 ・多職種連携会議の開催（年1～2回）（※県立大学と共催） R8. 10. 24予定（於：久慈病院）
2 生活習慣病の予防及び医療	(生活習慣病の予防) ○ 久慈医療圏は、心疾患、脳血管疾患の年齢調整死亡率が県平均より高い水準 ○ 生活習慣病の発生予防のためには食生活、運動、喫煙、飲酒等の生活習慣の改善が重要	⇒ 住民を対象とする減塩等栄養・食生活改善、身体活動・運動、血圧測定の推奨などの普及啓発 ⇒ 若年期からの各ライフステージに応じた健康的な生活習慣定着のための普及啓発 ⇒ 事業所等が行う健康経営の支援など、働き盛り世代の身体とこころの健康づくり支援 ⇒ 禁煙支援のための保健指導や禁煙外来の利用促進、受動喫煙防止等の普及啓発	(久慈医師会) ・久慈管内高校生への生活習慣病対策（糖尿病）予防講演実施 (久慈病院) ・市民公開健康講演会(2回)、地域健康講演会(2回)の開催 ※久慈医学談話会主催 (種市病院) ・糖尿病教室、地域健康講演会の実施（年12回） (久慈歯科医師会) ・生活習慣病予防につながる歯科口腔領域の健康維持効果の周知 (久慈薬剤師会) ・市民公開健康講演会への講師派遣 ・患者様とのコミュニケーションを通じて、生活習慣病の適切な情報提供・アドバイスを行う。 (看護協会久慈支部) ・まちの一日保健室開催～毎年看護の日のイベントとして地域住民を対象に体組成・血圧・血流測定などを実施し生活指導を実施（5月31日、参加34名） (久慈市) ・食生活改善推進員と市の協働により、適塩とバランスの取れた食生活習慣の普及啓発を継続実施 ・生活習慣病予防をテーマに健康教室実施 ・予防啓発記事を広報及びSNS等に掲載 ・いきいき百歳体操大交流会で家庭血圧測定に関する普及啓発を実施	(久慈医師会) ・久慈管内高校生への生活習慣病対策（糖尿病）予防講演実施 (久慈病院) ・市民公開健康講演会、地域健康講演会の開催 ※久慈医学談話会主催 (久慈恵愛病院) ・地域での健康教室の実施（運動、食事） (種市病院) ・糖尿病教室、地域健康講演会の実施 (久慈歯科医師会) ・関連医療機関との連携推進 (久慈薬剤師会) ・市民公開健康講演会への講師派遣 ・患者様とのコミュニケーションを通じて、生活習慣病の適切な情報提供・アドバイスを行う。 (看護協会久慈支部) ・まちの一日保健室開催～毎年看護の日のイベントとして地域住民を対象に体組成・血圧・血流測定などを実施し生活指導を実施 (久慈市) ・食生活改善推進員と市の協働により、適塩とバランスの取れた食生活習慣の普及啓発を継続実施 ・生活習慣病予防をテーマに、けんこうワークショップ実施 ・予防啓発記事を広報及びSNS等に掲載 ・いきいき百歳体操大交流会で家庭血圧測定に関する普及啓発を実施

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
			・家庭血圧測定普及のため、希望者に対し血圧計の貸出しを実施 ・高齢者の一体的実施事業では、個別的支援として重症化予防（高血圧、糖尿病性腎症重症化予防対策）、健康状態不明者対策、集团的支援として通いの場等への支援を実施 （洋野町） ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業では、個別的支援として重症化予防（高血圧・糖尿病・オーラルフレイル）、健康状態不明者対策、集团的支援として通いの場等への健康教室を実施 ・健康づくり大会を開催し、健康に関する生活習慣の普及啓発を実施。（8月・参加者約400名） ・野菜摂取量について摂取量チェック及び摂取量増加の推進 ・各種普及月間に併せた生活習慣病予防啓発活動として、町広報誌及びホームページへの記事の掲載を実施。（各種がん検診のお知らせ、歯の衛生週間、運動・適正飲酒、特定健診のお勧め、脳卒中予防など） ・町内の各地区で生活習慣病予防の地区栄養教室、健康教育を開催（28回・380名） ・働き盛り世代、病態別、男性を対象とした栄養教室等の実施(5回・45名) ・食生活改善推進員活動と連携し、ヘルシーレストラン（10月・77名）、地区栄養教室、中高生を対象とした食育教室を開催（5回・128名）し、栄養・食生活等に関する生活習慣の普及啓発に努めた。 （野田村） ・広報へのヘルシーレシピの掲載(年6回) ・地区健康相談で生活習慣病予防の啓発(46回) ・村文化祭で野菜摂取量の測定、「野菜350g 当てクイズ」の実施 ・学校、教育委員会との連携による生活習慣病予防の取組み ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業でのフレイル予防の取組 （普代村） ・地区健康教室にて自宅での血圧測定の推奨。 ・食生活改善推進員との共同による減塩等の取組み ・運動の習慣化・定着化の普及啓発を実施（ウォーキングチャレンジ） ・インセンティブ事業を実施。介護予防や健康づくりに関する事業への参加、各種健診・がん検診受診によりポイント付与。 ・村文化祭で、野菜摂取量測定の実施。 ・保健と介護の一体的事業では、個別的支援として、重症化予防・健康状態不明者対策・集团的支援として通いの場への支援を実施。 （保健所） ・ヘルスサポートネットワーク会議の開催による地域連携の推進（7/14、3月書面開催） ・事業所を対象とした講座の実施（4事業所） ・食生活改善推進員、栄養士、養護教諭等指導者の資質向上のための研修の実施（5/28：45人、6/18：36人、8/27：22人、9/5：21人）	・家庭血圧測定普及のため、希望者に対し血圧計の貸出しを実施 ・高齢者の一体的実施事業では、個別的支援として重症化予防（高血圧、糖尿病性腎症重症化予防対策）、低栄養、口腔、服薬、健康状態不明者対策、集团的支援として通いの場等への支援を実施 ・「高血圧ゼロのまち」モデルタウンとして県内自治体で初指定を受け、市内27施設に血圧計を設置しキオスク血圧測定を推進するなど高血圧対策の取組みを強化。 （洋野町） ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業では、個別的支援として重症化予防（高血圧・糖尿病・オーラルフレイル）、健康状態不明者対策、集团的支援として通いの場等への健康教室を実施 ・健康づくり大会を開催し、健康に関する生活習慣の普及啓発を実施。 ・野菜摂取量について摂取量チェック及び摂取量増加の推進 ・各種普及月間に併せた生活習慣病予防啓発活動として、町広報誌及びホームページへの記事の掲載を実施。（各種がん検診のお知らせ、歯の衛生週間、運動・適正飲酒、特定健診のお勧め、脳卒中予防など） ・町内の各地区で生活習慣病予防の地区栄養教室、健康教育を開催。 ・働き盛り世代、病態別、男性を対象とした栄養教室等の実施。 ・食生活改善推進員活動と連携し、ヘルシーレストラン、地区栄養教室、中高生を対象とした食育教室を開催し、栄養・食生活等に関する生活習慣の普及啓発に努める。 （野田村） ・広報へのヘルシーレシピの掲載 ・地区健康相談で生活習慣病予防の啓発 ・道の駅等での食育推進事業の実施 ・村文化祭で野菜摂取量の測定、「野菜350g 当てクイズ」の実施 ・学校、教育委員会との連携による生活習慣病予防の取組み ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業でのフレイル予防の取組 （普代村） ・地区健康教室にて自宅での血圧測定の推奨。 ・食生活改善推進員との共同による減塩等の取組み ・運動の習慣化・定着化の普及啓発を実施（ウォーキングチャレンジ） ・インセンティブ事業を実施。介護予防や健康づくりに関する事業への参加、各種健診・がん検診受診によりポイント付与。 ・食生活改善推進員養成講座を実施 ・野菜摂取量測定の実施。 ・保健と介護の一体的事業では、個別的支援として、重症化予防・健康状態不明者対策・集团的支援として通いの場への支援を実施。 （保健所） ・ヘルスサポートネットワーク会議の開催による地域連携の推進 ・事業所を対象とした講座の実施 ・食生活改善推進員、栄養士、養護教諭等指導者の資質向上のための研修の実施 ・学校や事業所、飲食店等を対象とした喫煙や受動喫煙防止に関する普及啓発

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
			・学校や事業所、飲食店等を対象とした喫煙や受動喫煙防止に関する普及啓発（5/31世界禁煙デーのポスター掲示、管内企業へのメール、飲食店等への説明会等） ・循環器病等予防緊急対策食生活改善キャンペーン事業の実施（いわて減塩の日の合庁展示9回、減塩弁当取扱店の利用促進） ・健康管理機器貸与（体組成測定器）10回 （圏域） ・関係機関と連携し県民、関係者対象の「減塩フェスタin久慈」を開催 ・岩手県脳卒中県民会議の活動促進 ・健康いわて21プラン（第3次）の推進 ・第4次岩手県がん対策推進計画の推進	・循環器病等予防緊急対策食生活改善キャンペーン事業の実施 ・健康管理機器貸与（体組成測定器・ベジメータ等） （圏域） ・関係機関と連携し県民、関係者対象の「健康フェスタin久慈」を開催 ・岩手県脳卒中県民会議の活動促進 ・健康いわて21プラン（第3次）の推進 ・第4次岩手県がん対策推進計画の推進
	（生活習慣病の早期発見・治療） ○ 心疾患発症直後の救急要請、現場での心肺蘇生やAEDの活用、施設間での画像情報等の共有、搬送、救命措置の切れ目ない連携が必要 ○ 検診受診率向上等による疾病の早期発見、早期治療の推進が必要 ○ 圏域の市町村が実施するがん検診の受診率は低く、精密検査受診率とも併せ、その向上に取り組むことが必要 ○ 特定健康診査受診率（国保）、特定保健指導実施率についても、一層の向上が必要	⇒ AEDを用いた心肺蘇生法の普及啓発、心電図伝送システムの整備等ICTの活用による速やかな救命措置と搬送が可能な体制の整備 ⇒ 脳卒中の前兆や、緊急受診が必要な症状の普及啓発 ⇒ がん検診精密検査や特定健康診査後の医療機関未受診者に対する受診勧奨、治療中断者への治療継続勧奨 ⇒ 市町村における特定健康診査、がん検診受診者に対するインセンティブ付与や休日・夜間等受診しやすい環境の整備、ナッジ理論を活用した無受信者への再勧奨 ⇒ 医療機関や市町村における尿中推定塩分摂取量測定結果に基づく指導や普及啓発	（久慈病院） ・糖尿病外来による診療等対応（週2回） ・糖尿病教室の実施（6回） ・糖尿病看護認定看護師による院外研修講師（3回） （種市病院） ・塩分摂取量測定検査の実施 （久慈薬剤師会） ・関係機関との連携による特定健診の普及啓発。 （久慈市） ・各種イベント等へのAEDの貸し出し ・保健推進委員による健診受診勧奨 ・受診率向上のため、夜間、休日検診を実施 ・健診未受診者に対する1月健診の実施 ・早急な精密検査を要する者に対し、保健師が訪問し受療勧奨を行う ・かかりつけ医と連携した健診受診勧奨 ・特定健診未受診理由別にナッジ理論を活用した健診受診勧奨通知を発送 ・特定健診自己負担の無料化 ・がん検診との同日実施 ・特定健診未受診者のうち、3年連続未受診者への受診勧奨 ・特定健診未受診者のうち、「職場健診を受けている」と回答のあった者に対する職場健診結果提供依頼 ・継続受診の大切さについてメッセージ付きのインセンティブを配布 ・40歳に特化した受診行動に対するインセンティブの配布 ・健診結果より受療勧奨を実施し受療後に受療報告書の提出を依頼することで、未提出者への再受療勧奨を効率的に実施 ・健診時の血圧値により家庭血圧測定を勧奨、30日以上測定し記録を提出した者に商品券（1,000円）を配布 （洋野町） ・特定健診、若年者健診、後期高齢者健診、各種がん検診の受診率向上に努めた（特定健診自己負担、若年者健診の無料化。未受診者再勧奨個別通知。夕方、休日の検診。子宮頸がん検診・乳がん検診、大腸がん検診、胃がん検診、肺がん検診の個別検診の実施） ・糖尿病重症化予防事業の実施（未受診者及び治療中断者への受診勧奨、かかりつけ医と連携した保健指導）	（久慈病院） ・糖尿病外来による診療等対応（週2回） ・糖尿病教室の実施 ・糖尿病看護認定看護師による院外研修講師 （種市病院） ・塩分摂取量測定検査の実施 （久慈薬剤師会） ・関係機関との連携による特定健診の普及啓発。 （久慈市） ・各種イベント等へのAEDの貸し出し ・健康サポーターの養成及び健康づくりへの取組み推進 ・受診率向上のため、夜間、休日検診を実施 ・健診未受診者に対する1月健診の実施 ・早急な精密検査を要する者に対し、保健師が訪問し受療勧奨を行う ・かかりつけ医と連携した健診受診勧奨 ・特定健診未受診理由別にナッジ理論を活用した健診受診勧奨通知を発送 ・特定健診自己負担の無料化 ・がん検診との同日実施 ・特定健診未受診者のうち、3年連続未受診者への受診勧奨 ・特定健診未受診者のうち、「職場健診を受けている」と回答のあった者に対する職場健診結果提供依頼 ・継続受診の大切さについてメッセージ付きのインセンティブを配布 ・40歳に特化した受診行動に対するインセンティブの配布 ・健診結果より受療勧奨を実施し受療後に受療報告書の提出を依頼することで、未提出者への再受療勧奨を効率的に実施 ・健診時の血圧値により家庭血圧測定を勧奨、30日以上測定し記録を提出した者に商品券（1,000円）を配布 （洋野町） ・特定健診、若年者健診、後期高齢者健診、各種がん検診の受診率向上に努めた（特定健診自己負担、若年者健診の無料化。未受診者再勧奨個別通知。夕方、休日の検診。子宮頸がん検診・乳がん検診、大腸がん検診、胃がん検診、肺がん検診の個別検診の実施） ・糖尿病重症化予防事業の実施（未受診者及び治療中断者への受診勧奨、かかりつけ医と連携した保健指導）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
			・特定保健指導及び若年者保健指導の指導率の向上に努めた（健診結果返却と同時実施） ・インセンティブ事業として、各種健診や健康づくり事業、介護予防事業等に参加した人にポイント付与し、町の商品券と交換。 ・特定健診結果より対象者を抽出し、生活習慣病予防の教室を実施。（2回・8名） （野田村） ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） ・生活習慣病重症化予防事業の実施 ・特定健診受診率向上のため、対象世帯へパンフレットを配布 （普代村） ・保健推進員による受診票の配布と受診勧奨 ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診等基本健診とがん検診の同日実施、休日実施、特定健診と若年健診無料） ・健診結果説明会の案内を健診結果とともに郵送し、説明会を地区で実施。 （保健所） ・心肺蘇生法講習会等へのA E D訓練機の貸出し（1回、30人参加） （圏域） ・健康いわて2 1プラン（第3次）の推進 ・第4次岩手県がん対策推進計画の推進 ・岩手県脳卒中県民会議の活動促進	・特定保健指導及び若年者保健指導の指導率の向上に努めた（健診結果返却と同時実施） ・インセンティブ事業として、各種健診や健康づくり事業、介護予防事業等に参加した人にポイント付与し、町の商品券と交換。 ・特定健診結果より対象者を抽出し、生活習慣病予防の教室を実施。 （野田村） ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） ・個別通知による未受診者への受診勧奨 ・生活習慣病重症化予防事業の実施 ・特定健診受診率向上のため、対象世帯へパンフレットを配布 （普代村） ・保健推進員による受診票の配布と受診勧奨 ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診等基本健診とがん検診の同日実施、休日実施、特定健診と若年健診無料） ・健診結果説明会の案内を健診結果とともに郵送し、説明会を地区で実施。 （保健所） ・心肺蘇生法講習会等へのA E D訓練機の貸出し （圏域） ・健康いわて2 1プラン（第3次）の推進 ・第4次岩手県がん対策推進計画の推進 ・岩手県脳卒中県民会議の活動促進
3 医療従事者の確保及び多職種連携の推進	（医療従事者の確保、地域医療を支える取組等） ○ 人口10万対の医師数は9圏域中9位、看護師・准看護師数は8位となっているが、生産年齢人口の減少に伴い、一層、医療従事者の確保が課題 ○ 医師の時間外・休日労働上限規制適用にも対応する必要	⇒ 中学校での医師による出前講座、医療現場体験の実施 ⇒ 医師養成事業や看護職員修学資金等の支援制度の周知 ⇒ 臨床研修体制の充実、研修医の確保、地域の魅力発信等による圏内勤務医師育成 ⇒ 診療科の医師充足、医師配置に係る関係機関への働きかけ ⇒ 地域一体で地域医療を支える取組（適切な受診や救急要請等）の普及啓発	（久慈医師会） ・卒後5年間の会費等の減免措置 ・岩手県・岩手県医師会・岩手看護協会等の入会・入校案内、研修会ポスター掲示、周知他 ・管内市町村との連携 （久慈病院） ・医育機関、医療従事者養成機関からの実習生の受入（64人） ・県医療局主催の各職域就職説明会等実施への協力 ・特定行為看護師の養成による医師の負担軽減 ・「久慈地域医療と介護の情報交換会」（久慈市地域包括支援センター主催）への参画（1回・2名） ・看看連携会議の開催による訪問看護ステーション等との情報交換（2回） ・地域ケア会議への参加（1回・2名） ・オープンホスピタルの開催（参加約180名、うち中学生33名） （北リアス病院） ・看護師、心理師、福祉系国家資格取得に向け、奨学金を貸与し人材を育成。 ・地域生活への移行がスムーズに行えるよう、また、地域生活が充実するよう、多職種でのケア会議開催を促し、また、同会議へ積極的に参加し、多職種連携を推進。 （久慈恵愛病院） ・医療従事者育成のための奨学金制度の継続	（久慈医師会） ・卒後5年間の会費等の減免措置 ・岩手県・岩手県医師会・岩手看護協会等の入会・入校案内、研修会ポスター掲示、周知他 ・管内市町村との連携 （久慈病院） ・医育機関、医療従事者養成機関からの実習生の受入 ・県医療局主催の各職域就職説明会等実施への協力 ・特定行為看護師の養成による医師の負担軽減 ・「久慈地域医療と介護の情報交換会」（久慈市地域包括支援センター主催）への参画 ・看看連携会議の開催による訪問看護ステーション等との情報交換 ・地域ケア会議への参加（3回） ・オープンホスピタルの開催 （北リアス病院） ・看護師、心理師、福祉系国家資格取得に向け、奨学金を貸与し人材を育成。 ・院内外において、多職種でのケア会議開催を促し、また、同会議へ積極的に参加し、多職種連携を推進。 （久慈恵愛病院） ・医療従事者育成のための奨学金制度の継続

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
			(種市病院) ・学生の職場体験を通じた、医療従事者の魅力発信（中学１校４名） ・研修医の受入による地域医療の魅力発信（４名） ・診療応援医師等の派遣要請（岩手医科大学等26名） (看護協会久慈支部) ・ふれあい看護体験(対象：高校生、於：県立久慈病院) (久慈市) ・市町村医師養成事業への負担金抛出 ・看護師養成のため奨学資金貸付事業を実施 ・国や県、関係機関に対し、県立久慈病院の医療体制の充実を要望 ・久慈医学談話会への補助金交付及び講演会開催に係る周知協力 ・地域看護学実習等の受入 ・介護人材の確保に関する研修情報等の発信 (洋野町) ・医師及び看護職員等（看護師、保健師、薬剤師、診療放射線技師）養成に係る奨学金の実施 ・福祉のしごと就職・転職フェアの開催（R7. 10. 11/福祉課） ・地域看護学実習等の受入 (野田村) ・医療福祉系学生の地域包括ケア体験事業（「ごちゃまぜフィールドワーク」）の実施。（岩手医大、県大の学生参加、9/13～15） (普代村) ・保健師・看護師養成に係る奨学金事業の実施 ・社会福祉士養成のための奨学金制度の実施 (保健所) ・中学校における医師による出前講座の開催（7. 15 野田中24名、9. 24 中野中25名、12. 2 久慈中113名） ・県立久慈病院と共同で医療現場体験会を開催(7. 26、中学生33名) ・久慈地域医療安全対策研修会の開催（R7. 12. 9 、102人）	(種市病院) ・学生の職場体験を通じた、医療従事者の魅力発信 ・研修医の受入による地域医療の魅力発信 ・診療応援医師等の派遣要請 (看護協会久慈支部) ・ふれあい看護体験(対象：高校生、於：県立久慈病院) (久慈市) ・市町村医師養成事業への負担金抛出 ・看護師養成のため奨学資金貸付事業を実施 ・国や県、関係機関に対し、県立久慈病院の医療体制の充実を要望 ・久慈医学談話会への補助金交付及び講演会開催に係る周知協力 ・地域看護学実習等の受入 ・介護人材の確保に関する研修情報等の発信 (洋野町) ・医師及び看護職員等（看護師、保健師、薬剤師、診療放射線技師）養成に係る奨学金の実施 ・福祉のしごと就職・転職フェアの開催（R7. 10. 11/福祉課） ・地域看護学実習等の受入 (野田村) ・医療福祉系学生の地域包括ケア体験事業（「ごちゃまぜフィールドワーク」）の実施（7/18～20）。 (普代村) ・保健師・看護師養成に係る奨学金事業の実施 ・社会福祉士養成のための奨学金制度の実施 (保健所) ・中学校における医師による出前講座の開催 ・県立久慈病院と共同で医療現場体験会を開催 ・久慈地域医療安全対策研修会の開催
	(周産期医療への対応) ○ 特に産婦人科の医師不足が課題。圏域内の分娩取扱いが県立久慈病院のみで、ハイリスク妊産婦の分娩に係る隣接圏域との連携が重要	⇒ ICT活用による、市町村や周産期医療機関の情報連携、妊産婦の健康サポート ⇒ 他圏域の医療機関を利用する妊婦に対する経済的支援 ⇒ 県立久慈病院と市町村、保健所との連携による産後ケア等の取組 ⇒ 地域周産期母子医療センター（県立久慈病院）への医師配置等を関係機関へ働きかけ	(久慈病院) ・産婦人科常勤医の確保など診療体制の維持 ・妊婦健診の実施（1, 074件） ・助産師外来の開設（22週助産師外来(51件)、産後２週間健診(51件)、母乳相談(2件)） ・医師または助産師（アドバンス助産師）による乳腺炎重症化予防ケアの実施（27件） ・小中高生を対象とした「命の授業」の実施（９回） ・母親学級開催（22回・69名） (久慈歯科医師会) ・健診を通じた妊産婦の口腔状況の把握と衛生管理 (久慈市) ・市外医療機関（県内＋八戸市）での妊産婦健診受診等に係る交通費宿泊費助成について、県補助金を活用し、市外医療機関での妊産婦健診を受診する全ての妊産婦を対象とし、上限額を拡大。 ・産後ケア事業の実施（アウトリーチ型・デイサービス型） ・「母子保健医療総合対策支援事業」を実施し、県や医療機関と連携し妊産婦支援及び育児支援の充実に努めた。	(久慈病院) ・産婦人科常勤医の確保など診療体制の維持 ・妊婦健診の実施 ・助産師外来の開設（22週助産師外来、産後２週間健診、母乳相談） ・医師または助産師（アドバンス助産師）による乳腺炎重症化予防ケアの実施 ・小中高生を対象とした「命の授業」の実施 ・母親学級開催 (久慈歯科医師会) ・関連医療機関との連携推進 (久慈市) ・市外医療機関（県内＋八戸市）での妊産婦健診受診等に係る交通費宿泊費助成について、県補助金を活用し、全ての妊産婦を対象とし実施。 ・産後ケア事業の実施（アウトリーチ型・デイサービス型） ・「母子保健医療総合対策支援事業」を実施し、県や医療機関と連携し妊産婦支援及び育児支援の充実に努めた。

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
			(洋野町) ・「こども家庭センター」を中心に、母子保健と児童福祉を一体的に支援し、妊産婦、子育て世代、こどもの様々な疑問や不安に寄り添い支援を実施 ・「洋野町不妊治療費助成金交付事業」により、保険適用にかかわらず治療期間中の医療費の自己負担額を助成(申請者:実6名、延べ8回) ・妊産婦への支援(出産・子育て応援交付金事業、妊産婦健康診査交通費助成、妊婦歯科健診、妊婦訪問、産後ケア事業、産後2週間及び1か月健診費用助成)の実施。 ・乳幼児期発達支援連絡会を開催し、保健師・保育士・福祉制度担当者・教育委員会等と多職種での連携のもと、乳幼児の発達支援に努める。 (野田村) ・母子保健医療連絡会での情報共有、支援の確認等 ・妊婦給付金事業(34件)、妊産婦健診等交通費助成事業(15件)、妊婦歯科健診の実施(7人)、産後(2週間・1カ月)健診(延べ20人)。 ・低所得妊婦初回産科受診料助成事業開始、多胎妊娠の妊婦健診拡充(+5回)開始(1人)。 ・産後ケア事業の実施(アウトリーチ型) (普代村) ・妊産婦への支援(育児祝金(第一子から30万円))、妊産婦健康診査交通費助成、妊婦歯科健診、妊婦訪問、産後ケア事業、産後2週間及び1か月健診費用助成)の実施。 (保健所) ・妊産婦のメンタルケア推進事業の実施(7/17:60人) ・市町村等との連携による「妊娠・出産包括支援推進事業」の実施 ・久慈地域母子保健医療連絡会の開催(5/14:13人、7/9:10人、9/10:10人、11/12:14人、1/14:8人、3/11:8人) ・不妊に悩む方への特定不妊治療交通費助成事業の実施(3人) ・性と健康の相談センター事業の実施(母子保健連絡会、相談対応等)	(洋野町) ・「こども家庭センター」を中心に、母子保健と児童福祉を一体的に支援し、妊産婦、子育て世代、こどもの様々な疑問や不安に寄り添い支援を実施 ・「洋野町不妊治療費助成金交付事業」により、保険適用にかかわらず治療期間中の医療費の自己負担額を助成 ・妊産婦への支援(出産・子育て応援交付金事業、妊産婦健康診査交通費助成、妊婦歯科健診、妊婦訪問、産後ケア事業、産後2週間及び1か月健診費用助成)の実施。 ・乳幼児期発達支援連絡会を開催し、保健師・保育士・福祉制度担当者・教育委員会等と多職種での連携のもと、乳幼児の発達支援に努める。 (野田村) ・母子保健医療連絡会での情報共有、支援の確認等 ・妊婦給付金事業、妊産婦健診等交通費助成事業、妊婦歯科健診の実施、産後(2週間・1カ月)健診。 ・低所得妊婦初回産科受診料助成事業、多胎妊娠の妊婦健診の実施 ・産後ケア事業の実施(アウトリーチ型) ・子ども家庭センター設置の検討 (普代村) ・こども家庭センター設置。 ・妊産婦への支援(育児祝金(第一子から30万円))、妊産婦健康診査交通費助成、妊婦歯科健診、妊婦訪問、産後ケア事業、産後2週間及び1か月健診費用助成)の実施。 ・不妊治療・検査費用助成 〔一般不妊治療:1回5万円、1年度につき1回〕 〔特定不妊治療:1回5万円、1年度につき6回〕 (保健所) ・妊産婦のメンタルケア推進事業の実施 ・市町村等との連携による「妊娠・出産包括支援推進事業」の実施 ・久慈地域母子保健医療連絡会を開催(隔月 年6回)し、市町村・医療機関・保健所でハイリスク妊婦等母子保健に関する情報共有・情報提供 ・不妊に悩む方への特定不妊治療交通費助成事業の実施 ・性と健康の相談センター事業の実施
	(医療と介護の情報共有) ○ 入院医療機関とかかりつけ医、介護事業所等の円滑な連携、入退院の調整、情報共有が必要	⇒ 病院の退院支援担当者による調整支援 ⇒ 「北三陸ネット」の活用による医療・介護の情報共有、相互連携促進	「1 高齢化社会に対応した地域医療体制の構築」の「医療と介護の連携」に同じ	「1 高齢化社会に対応した地域医療体制の構築」の「医療と介護の連携」に同じ

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
(1) がんの医療体制	○ がん（悪性新生物）は、久慈保健医療圏の死因第1位で、年齢調整死亡率（令和5年・人口10万人対）は288.5（県平均288.2）で、岩手県平均とほぼ同水準となっています。 ○ がんを早期に発見し、進行がんを減少させ、がんの治癒や予後の向上を図るためには、がん検診及び精密検査の受診率を向上させることが必要とされている。 ○ 久慈医療圏の市町村が実施するがん検診の受診率（令和5年）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、胃がん14.7％（県平均11.3％）、肺がん13.3％（県平均10.3％）、大腸がん13.6％（県平均10.6％）と落ち込んでおり、一層の受診率向上が必要である。	⇒ がんを早期に発見し、進行がんを減少させるため、がんの予防のための対策を推進するとともに、がん検診及び精密検査の受診率向上に取り組む。 ⇒ 必要な精密検査と治療が確実に行われるよう、健診後の医療機関への早期受診についての普及啓発を行う。 ⇒ たばこ対策について、喫煙率の減少及び受動喫煙防止に取り組む。	(久慈医師会) - がん検診の受診勧奨、早期発見、早期治療の推進 - 関係機関との連携強化 (久慈病院) - 地域がん診療病院の運営 手術件数93件、薬物療法患者数1,132人、放射線治療患者数156人、緩和ケアチーム介入患者数95人、院内がん登録数450件、がん相談件数132件、緩和ケア医療従事者研修会開催(R7.11.8、12名受講) - ストーマ外来(662件)・ピンクリボン外来の開設・診療等対応 - 外来化学療法連携充実加算 187件算定 (久慈歯科医師会) - がん治療の副作用、合併症軽減を目的とした口腔管理（ヘルスケア） (久慈市、洋野町、野田村、普代村) - がん患者医療用補正具購入費補助金(医療用ウィッグ及び胸部補正具)実施。(洋野町：申請者2名、野田村：1名) (久慈市) - 未受診者への個別勧奨、受診しやすい日時（休日、夕刻）の設定など受診率向上対策を実施 70歳未満の各種がん検診自己負担額を軽減（約3割⇒2割負担へ）。 (洋野町) - 各種がん検診の受診率向上に努めた（未受診者再勧奨個別通知。夕方、休日の検診。子宮頸がん検診・乳がん検診、大腸がん検診、胃がん検診、肺がん検診の個別検診の実施） - 子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診・胃がん検診、肺がん検診の個別検診実施。 - インセンティブ事業として、各種健診や健康づくり事業、介護予防事業等に参加した人にポイント付与し、町の商品券と交換。 (野田村) - がん検診（一次検査）及び精密検査の受診率向上に向けての取組 - がん検診の受診しやすい環境の整備（特定健診等同時実施、休日実施、追加検診等） (普代村) - 各種がん検診の受診率向上の取組みを継続（基本健診同時実施。休日検診日の設定） - 健診結果説明会で要精密検査の方へ早期受診勧奨 - インセンティブ事業を実施。がん検診受診者にポイント付与。 (保健所) - ヘルスサポートネットワーク会議の開催による地域連携の推進（7/14、3月書面開催） - 乳がん月間（10月）における取組（ピンクリボン・ツリーの設置、各種パンフレット配架、ポスター掲示） - 学校や事業所、飲食店等を対象とした喫煙や受動喫煙防止に関する普及啓発（5/31世界禁煙デーのポスター掲示、管内企業へのメール、飲食店等への説明会等） (圏域) - 第4次岩手県がん対策推進計画の推進 - 健康いわて21プラン（第3次）の推進	(久慈医師会) - がん検診の受診勧奨、早期発見、早期治療の推進 - 関係機関との連携強化 (久慈病院) - 地域がん診療病院の運営 緩和ケア医療従事者研修会(R8.11.7開催予定) - ストーマ外来・ピンクリボン外来の開設・診療等対応 (久慈歯科医師会) - 関連医療機関との連携推進 (久慈市、洋野町、野田村、普代村) - がん患者医療用補正具購入費補助金(医療用ウィッグ及び胸部補正具)実施。 (久慈市) - 未受診者への個別勧奨、受診しやすい日時（休日、夕刻）の設定など受診率向上対策を実施 70歳未満の各種がん検診受診勧奨。 (洋野町) - 各種がん検診の受診率向上に努めた（未受診者再勧奨個別通知。夕方、休日の検診。子宮頸がん検診・乳がん検診、大腸がん検診、胃がん検診、肺がん検診の個別検診の実施） - 子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診・胃がん検診、肺がん検診の個別検診実施。 - インセンティブ事業として、各種健診や健康づくり事業、介護予防事業等に参加した人にポイント付与し、町の商品券と交換。 (野田村) - がん検診（一次検査）及び精密検査の受診率向上に向けての取組 - がん検診の受診しやすい環境の整備（特定健診等同時実施、休日実施、追加検診等） (普代村) - 各種がん検診の受診率向上の取組みを継続（基本健診同時実施。休日検診日の設定） - 健診結果説明会で要精密検査の方へ早期受診勧奨 - インセンティブ事業を実施。がん検診受診者にポイント付与。 (保健所) - ヘルスサポートネットワーク会議の開催による地域連携の推進 - 乳がん月間（10月）における取組（ピンクリボン・ツリーの設置、各種パンフレット配架、ポスター掲示） - 学校や事業所、飲食店等を対象とした喫煙や受動喫煙防止に関する普及啓発 (圏域) - 第4次岩手県がん対策推進計画の推進 - 健康いわて21プラン（第3次）の推進

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
(2) 脳卒中の医療体制	○ 脳血管疾患は、久慈保健医療圏の死因第3位で、年齢調整死亡率（令和5年・人口10万人対）は130.8（県平均109.2）で、岩手県平均より高い水準で推移している。 ○ 脳卒中の予防のためには、高血圧、喫煙、肥満、糖尿病、脂質異常症、不整脈等の危険因子の早期発見と健診の受診率向上が重要である。	⇒ 脳卒中の前兆や、緊急に受診が必要となる症状についての普及啓発や、危険因子である高血圧、肥満、糖尿病、脂質異常症、不整脈等の早期発見のため、健診受診率の向上を図る。 ⇒ 医療機関との連携により、普及啓発や受診勧奨を行うとともに健診実施期間の拡大や休日健診の実施、検査メニューの拡充など、受診しやすい環境整備を促進する。	(久慈病院) ・脳神経外科及び脳神経内科の診療体制変更に伴う八戸市内急性期医療機関との連携強化（医療関係者間コミュニケーションアプリの導入による、迅速な治療方針の決定及び脳卒中救急患者の搬送対応（※八戸赤十字病院、八戸市立市民病院及び久慈広域消防本部との連携・協力体制） (消防本部) ・円滑な救急業務遂行に資するため、医療関係者間コミュニケーションアプリJoinを八戸市民病院、八戸赤十字病院、他関係消防本部と連携し情報共有を図った。 (久慈市) ・食生活改善推進員と市の協働により、適塩とバランスの取れた食生活習慣の普及啓発を継続実施 ・生活習慣病予防をテーマに健康教室実施 ・全世代を対象として、高血圧予防である減塩をテーマに久慈医師会、久慈保健所等の関係機関、団体と共催し「減塩フェスタ」を開催。 ・早期発見に繋げるため、特定健診の受診勧奨を実施 ・家庭血圧測定の普及啓発（希望者への血圧計の貸出し等） ・健診時の血圧値により家庭血圧測定を勧奨、30日以上測定し記録を提出した者に商品券（1,000円）を配布 ・特定保健指導、健診結果説明会を実施 (洋野町) ・特定健診、若年者健診、後期高齢者健診、各種がん検診の受診率向上に努めた（特定健診自己負担、若年者健診の無料化。未受診者再勧奨個別通知。夕方、休日の検診。子宮頸がん検診・乳がん検診、大腸がん検診、胃がん検診、肺がん検診の個別検診の実施） ・糖尿病重症化予防事業の実施（未受診者及び治療中断者への受診勧奨、かかりつけ医と連携した保健指導） ・特定保健指導及び若年者保健指導の指導率の向上に努めた（健診結果返却と同時実施） ・インセンティブ事業として、各種健診や健康づくり事業、介護予防事業等に参加した人にポイント付与し、町の商品券と交換。 ・特定健診結果より対象者を抽出し、生活習慣病予防の教室を実施。 ・脳卒中予防や早期発見、受診の普及啓発。 (野田村) ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） ・若年者、特定、後期高齢者健診にあわせた推定塩分摂取量評価の実施（563人） ・地区健康相談会での減塩についての健康教育 ・食生活改善推進員との共同による減塩等の取組み (普代村) ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） ・地区健康教室にて自宅での血圧測定の推奨。	(久慈病院) ・脳神経外科及び脳神経内科の診療体制変更に伴う八戸市内急性期医療機関との連携強化（医療関係者間コミュニケーションアプリの導入による、迅速な治療方針の決定及び脳卒中救急患者の搬送対応（※八戸赤十字病院、八戸市立市民病院及び久慈広域消防本部との連携・協力体制） (消防本部) ・医療関係者間コミュニケーションアプリJoinを<u>用いて</u>八戸市民病院、八戸赤十字病院、他関係消防本部と連携し情報共有を図<u>る</u>。 (久慈市) ・食生活改善推進員と市の協働により、適塩とバランスの取れた食生活習慣の普及啓発を継続実施 ・生活習慣病予防をテーマに、けんこうワークショップ実施 ・全世代を対象として、高血圧予防である減塩をテーマに久慈医師会、久慈保健所等の関係機関、団体と共催し「健康フェスタ」を開催。 ・早期発見に繋げるため、特定健診の受診勧奨を実施 ・家庭血圧測定の普及啓発（希望者への血圧計の貸出し等） ・健診時の血圧値により家庭血圧測定を勧奨、30日以上測定し記録を提出した者に商品券（1,000円）を配布 ・特定保健指導、健診結果説明会を実施 ・「高血圧ゼロのまち」モデルタウンとして県内自治体で初指定を受け、市内27施設に血圧計を設置しキオスク血圧測定を推進するなど高血圧対策の取組みを強化。 (洋野町) ・特定健診、若年者健診、後期高齢者健診、各種がん検診の受診率向上に努めた（特定健診自己負担、若年者健診の無料化。未受診者再勧奨個別通知。夕方、休日の検診。子宮頸がん検診・乳がん検診、大腸がん検診、胃がん検診、肺がん検診の個別検診の実施） ・糖尿病重症化予防事業の実施（未受診者及び治療中断者への受診勧奨、かかりつけ医と連携した保健指導） ・特定保健指導及び若年者保健指導の指導率の向上に努めた（健診結果返却と同時実施） ・インセンティブ事業として、各種健診や健康づくり事業、介護予防事業等に参加した人にポイント付与し、町の商品券と交換。 ・特定健診結果より対象者を抽出し、生活習慣病予防の教室を実施。 ・脳卒中予防や早期発見、受診の普及啓発。 (野田村) ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） ・若年者、特定、後期高齢者健診にあわせた推定塩分摂取量評価の実施 ・地区健康相談会での減塩についての健康教育 ・食生活改善推進員との共同による減塩等の取組み (普代村) ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） ・地区健康教室にて自宅での血圧測定の推奨。

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
			・外部委託による健診受診勧奨の実施(特定健診受診率向上の取組み) ・食生活改善推進員との共同による減塩等の取組み ・健診結果個別説明を地区で実施。 ・結果説明会にて自宅での血圧測定の推奨、ベジメータを活用しての野菜摂取量測定と指導の実施。 ・幼児健診対象児と保護者に尿中塩分測定を行い、減塩適塩指導を実施。 (保健所) ・ヘルスサポートネットワーク会議の開催による地域連携の推進(7/14、3月書面開催) ・事業所を対象とした講座の実施(4事業所) ・食生活改善推進員、栄養士、養護教諭等指導者の資質向上のための研修の実施(5/28:45人、6/18:36人、8/27:22人、9/5:21人) ・学校や事業所、飲食店等を対象とした喫煙や受動喫煙防止に関する普及啓発(5/31世界禁煙デーのポスター掲示、管内企業へのメール、飲食店等への説明会等) ・循環器病等予防緊急対策食生活改善キャンペーン事業の実施(いわて減塩の日の合庁展示9回、減塩弁当取扱店の利用促進) ・健康管理機器貸与(体組成測定器)10回 (圏域) ・関係機関等と連携し県民、関係者対象の「減塩フェスタin久慈」を開催 ・岩手県脳卒中県民会議の活動促進 ・健康いわて21プラン(第3次)の推進	・外部委託による健診受診勧奨の実施(特定健診受診率向上の取組み) ・食生活改善推進員との共同による減塩等の取組み ・健診結果個別説明を地区で実施。 ・幼児健診対象児と保護者に尿中塩分測定を行い、減塩適塩指導を実施。 (保健所) ・ヘルスサポートネットワーク会議の開催による地域連携の推進 ・事業所を対象とした講座の実施 ・食生活改善推進員、栄養士、養護教諭等指導者の資質向上のための研修の実施 ・学校や事業所、飲食店等を対象とした喫煙や受動喫煙防止に関する普及啓発 ・循環器病等予防緊急対策食生活改善キャンペーン事業の実施 ・健康管理機器貸与(体組成測定器・ベジメータ等) (圏域) ・関係機関等と連携し県民、関係者対象の「健康フェスタin久慈」を開催 ・岩手県脳卒中県民会議の活動促進 ・健康いわて21プラン(第3次)の推進
(3) 心筋梗塞等の心血管疾患の医療体制	○ 心疾患は、久慈保健医療圏の死因第2位で、年齢調整死亡率(令和5年・人口10万人対)は208.4(県平均163.0)で、男女とも岩手県平均より高い水準で推移している。 ○ 心疾患の予防のためには、脂質異常症、喫煙、高血圧、糖尿病、メタボリックシンドローム、ストレス等の危険因子の早期発見と健診の受診率向上が重要である。 ○ 心疾患の救命率の向上及び予後の改善のためには、発症直後の速やかな救急要請、発症現場での心肺蘇生やAED等による電氣的除細動の実施、ICT等を活用した施設間での画像等の患者情報の共有、医療機関への搬送、その後の医療機関での救命措置が切れ目なく連携して実施されることが必要である。	⇒ 健診受診率の向上を図ることにより、ハイリスク者の早期発見を進め、ハイリスク者に対する受診の勧奨や生活習慣の改善を促す保健指導の充実に取り組む。 ⇒ 血圧の適正化のため、市町村や関係機関と連携し、家庭での血圧測定の推奨、減塩、運動、禁煙等に関する普及啓発を行う。 ⇒ 救命率の向上を図るため、AEDを用いた心肺蘇生法の普及啓発を図るほか、心電図伝送システムの整備等、ICTの活用による発症後の速やかな救命措置の実施と搬送が可能な体制の構築を促進する。	(久慈医師会) ・行政を交えた多職種連携での取組み ・血圧コントロール・減塩について住民への働きかけ (久慈病院) ・循環器内科等の医師確保など診療体制の維持 (久慈病院、久慈広域消防本部) ・医療関係者間コミュニケーションアプリの継続 (消防本部) ・12誘導心電図伝送システム(医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」)により、救急現場で記録した心電図データを病院到着前に医療機関(専門医等)と情報共有を図り、患者受け入れから医療処置実施までの時間を短縮し、救命率の向上を推進。今年度から更に拡大し八戸市民病院、八戸赤十字病院とも連携を図っている。 (久慈歯科医師会) ・歯科診療時の血圧確認による潜在患者等のスクリーニング (久慈市) ・早期発見に繋げるため、特定健診の受診勧奨を実施 ・家庭血圧測定の普及啓発 ・生活習慣病予防をテーマに健康教室実施 ・健診時の血圧値により家庭血圧測定を勧奨、30日以上測定し記録を提出した者に商品券(1,000円)を配布 ・特定保健指導、健診結果説明会を実施 ・家庭血圧測定普及のため、希望者に対し血圧計の貸出しを実施 ・各種イベント等へのAEDの貸出し	(久慈医師会) ・行政を交えた多職種連携での取組み ・血圧コントロール・減塩について住民への働きかけ (久慈病院) ・循環器内科等の医師確保など診療体制の維持 (久慈病院、久慈広域消防本部) ・医療関係者間コミュニケーションアプリの継続 (消防本部) ・12誘導心電図伝送システム(医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」)により、救急現場で記録した心電図データを病院到着前に医療機関(専門医等)と情報共有を図り、患者受け入れから医療処置を実施するまでの時間を短縮し、救命率の向上を推進。八戸市民病院、八戸赤十字病院とも連携を図っている。 (久慈歯科医師会) ・関連医療機関との連携推進 (久慈市) ・早期発見に繋げるため、特定健診の受診勧奨を実施 ・家庭血圧測定の普及啓発 ・生活習慣病予防をテーマにけんこうワークショップ実施 ・健診時の血圧値により家庭血圧測定を勧奨、30日以上測定し記録を提出した者に商品券(1,000円)を配布 ・特定保健指導、健診結果説明会を実施 ・家庭血圧測定普及のため、希望者に対し血圧計の貸出しを実施 ・各種イベント等へのAEDの貸出し

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
			(洋野町) ・特定健診の受診率向上に努めた（未受診者再勧奨個別通知。夕方、休日の検診。個別検診の実施） ・特定保健指導及び若年者の指導率の向上に努めた（健診結果返却と同時実施） ・町内の各地区において生活習慣病予防の地区栄養教室、健康教育を開催（28回・380名） ・食生活改善推進員活動と連携し、ヘルシーレストラン（10月・77名）、地区栄養教室、中高生を対象とした食育教室を開催（5回・128名）し、栄養・食生活等に関する生活習慣の普及啓発に努めた。 ・働き盛り世代、病態別、男性を対象とした栄養教室等の実施(5回・45名) ・野菜摂取量について摂取量チェック及び摂取量増加の推進 (野田村) ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） ・地区公民館、保健センター健康相談会等での健康教育、啓発資料の配布 (普代村) ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） ・外部委託による健診受診勧奨の実施(特定健診受診率向上の取組み) ・食生活改善推進員との共同による減塩等の取組み ・健診結果個別説明会の実施 (保健所) ・ヘルスサポートネットワーク会議の開催による地域連携の推進（7/14、3月書面開催） ・事業所を対象とした講座の実施（4事業所） ・食生活改善推進員、栄養士、養護教諭等指導者の資質向上のための研修の実施（5/28：45人、6/18：36人、8/27：22人、9/5：21人） ・学校や事業所、飲食店等を対象とした喫煙や受動喫煙防止に関する普及啓発(5/31世界禁煙デーのポスター掲示、管内企業へのメール、飲食店等への説明会等) ・循環器病等予防緊急対策食生活改善キャンペーン事業の実施（いわて減塩の日の合庁展示9回、減塩弁当取扱店の利用促進） ・健康管理機器貸与（体組成測定器）10回 (圏域) ・心電図伝送システムの運用 ・健康いわて21プラン（第3次）の推進	・「高血圧ゼロのまち」モデルタウンとして県内自治体で初指定を受け、市内27施設に血圧計を設置しキオスク血圧測定を推進するなど高血圧対策の取組みを強化。 (洋野町) ・特定健診の受診率向上に努めた（未受診者再勧奨個別通知。夕方、休日の検診。個別検診の実施） ・特定保健指導及び若年者の指導率の向上に努めた（健診結果返却と同時実施） ・町内の各地区において生活習慣病予防の地区栄養教室、健康教育を開催。 ・食生活改善推進員活動と連携し、ヘルシーレストラン、地区栄養教室、中高生を対象とした食育教室を開催し、栄養・食生活等に関する生活習慣の普及啓発に努める。 ・働き盛り世代、病態別、男性を対象とした栄養教室等の実施 ・野菜摂取量について摂取量チェック及び摂取量増加の推進 (野田村) ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） ・地区公民館、保健センター健康相談会等での健康教育、啓発資料の配布 (普代村) ・特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） ・外部委託による健診受診勧奨の実施(特定健診受診率向上の取組み) ・食生活改善推進員との共同による減塩等の取組み ・健診結果個別説明会の実施 (保健所) ・ヘルスサポートネットワーク会議の開催による地域連携の推進 ・事業所を対象とした講座の実施 ・食生活改善推進員、栄養士、養護教諭等指導者の資質向上のための研修の実施 ・学校や事業所、飲食店等を対象とした喫煙や受動喫煙防止に関する普及啓発 ・循環器病等予防緊急対策食生活改善キャンペーン事業の実施 ・健康管理機器貸与（体組成測定器・ベジメータ等） (圏域) ・心電図伝送システムの運用 ・健康いわて21プラン（第3次）の推進
(4) 糖尿病の医療体制	○ 圏域の特定健診受診者の血糖リスク保有者の割合（令和2年～令和3年の2年平均）は、男性56.1%、女性45.5%であり、改善に向けて取り組む必要がある。	⇒ 糖尿病などの生活習慣病の予防を図るため、食生活改善推進員との協働による減塩運動の実施、住民の食生活改善活動への支援、運動習慣の定着、健康教室等の啓発活動により健康的な生活習慣の定着を図る。	(久慈医師会) ・定期的な糖尿病・腎症対策の研修会及び講演会実施 ・糖尿病対策推進会議への参加 ・久慈管内高校生への生活習慣病対策（糖尿病）予防講演 ・行政と連携での取組	(久慈医師会) ・定期的な糖尿病・腎症対策の研修会及び講演会実施 ・糖尿病対策推進会議への参加 ・久慈管内高校生への生活習慣病対策（糖尿病）予防講演 ・行政と連携での取組

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R 7 年度における取組実績	R 8 年度における取組状況及び予定
	○ 糖尿病の初期段階は自覚症状が乏しく、医療機関の未受診や治療中断の傾向がある。 ○ 人工透析予防のためには、その最多原疾患である糖尿病性腎症の重症化予防が極めて重要である。 人工透析新規患者数 （うち糖尿病性腎症） ※ R4とR5の合計 久慈圏域:30人（14人） 全 県:585人(202人）	⇒ 糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関の未受診者・治療中断者について、適切な受診勧奨を行うことにより治療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症等で治療中の患者のうち、重症化するリスクの高い者に対してかかりつけ医の判断により対象者を選定して保健指導を行い、腎不全、腎代替療法（血液透析、腹膜透析及び腎臓移植）への移行を防止する。	（久慈病院） - 診療体制の維持 - 糖尿病外来の開設（糖尿病透析予防指導管理の継続実施） - 糖尿病教室の実施（年6回予定） - 糖尿病合併症管理「フットケア外来」の継続実施 （種市病院） - 糖尿病外来の開設 - 糖尿病患者等で構成される「糖尿病友の会」の開設（会員56名） （久慈歯科医師会） - 糖尿病との関連性が報告されている歯周病の健診及び治療の推進 （久慈薬剤師会） - 定期的な糖尿病・腎症対策の講演会実施 （久慈市） - 糖尿病性腎症化予防事業プログラムに沿って治療の有無、HbA1c等の数値に応じて情報提供や訪問等にて受療勧奨を実施 - 健診未受診者のうち、過去のレポートに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名がある治療中断者に対して受療勧奨を実施 （洋野町） - 特定健診、若年者健診、後期高齢者健診等の受診率向上に努めた（未受診者再勧奨個別通知。夕方、休日の検診。個別検診の実施） - 特定保健指導及び若年者保健指導の指導率の向上に努めた（健診結果返却と同時実施） - 糖尿病重症化予防事業の実施（未受診者及び治療中断者への受診勧奨、かかりつけ医と連携した保健指導） （野田村） - 特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） - 地区健康相談会等での健康教育 - 糖尿病性腎症重症化予防事業 （普代村） - 特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） - 外部委託による健診の診勧奨の実施(特定健診受診率向上の取組み) - 健診結果個別説明会の実施 - 糖尿病重症化予防事業の取組み （保健所） - 糖尿病性腎症重症化予防連携会議・研修会の開催(2/19：21人) - 健康的な食事推進人材育成事業の実施 (5/28:45人、6/18:36人、8/27:22人、9/5:21人) - 食生活改善に関する講座の開催(10回：287人) - 健康管理機器貸与(体組成測定器)(10回) （圏域） - 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の推進 - 糖尿病性腎症重症化予防対策事業について連携会議の開催 - 糖尿病友の会の活動 - 診療体制の維持	（久慈病院） - 診療体制の維持 - 糖尿病外来の開設（糖尿病透析予防指導管理の継続実施） - 糖尿病教室の実施（年6回予定） - 糖尿病合併症管理「フットケア外来」の継続実施 （種市病院） - 糖尿病外来の開設 - 糖尿病患者等で構成される「糖尿病友の会」の開設 （久慈歯科医師会） - 関連医療機関との連携推進 （久慈薬剤師会） - 定期的な糖尿病・腎症対策の講演会実施 （久慈市） - 糖尿病性腎症化予防事業プログラムに沿って治療の有無、HbA1c等の数値に応じて情報提供や訪問等にて受療勧奨を実施 - 健診未受診者のうち、過去のレポートに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名がある治療中断者に対して受療勧奨を実施 （洋野町） - 特定健診、若年者健診、後期高齢者健診等の受診率向上に努めた（未受診者再勧奨個別通知。夕方、休日の検診。個別検診の実施） - 特定保健指導及び若年者保健指導の指導率の向上に努めた（健診結果返却と同時実施） - 糖尿病重症化予防事業の実施（未受診者及び治療中断者への受診勧奨、かかりつけ医と連携した保健指導） （野田村） - 特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） - 地区健康相談会等での健康教育 - 糖尿病性腎症重症化予防事業 （普代村） - 特定健診等受診しやすい環境の整備（特定健診無料、休日実施、がん検診同時実施等） - 外部委託による健診受診勧奨の実施(特定健診受診率向上の取組み) - 健診結果個別説明会の実施 - 糖尿病重症化予防事業の取組み （保健所） - 糖尿病性腎症重症化予防連携会議・研修会の開催 - 健康的な食事推進人材育成事業の実施 - 食生活改善に関する講座の開催 - 健康管理機器貸与(体組成測定器、ベジメータ等) （圏域） - 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の推進 - 糖尿病性腎症重症化予防対策事業について連携会議の開催 - 糖尿病友の会の活動 - 診療体制の維持